

## 若者のファッションへの関心と環境配慮意識に関する研究

1230515 百岳菜々

指導教員 土屋 哲

### 研究背景

私はアパレル業界で働いているが、以前から衣類の購買行動と環境配慮の関係に関心があり、この業界で働き出してからは一層その気持ちが強くなった。現在勤務している会社は俗にいう「ファストファッション」である。ファストファッションは流行を取り入れつつ低価格に抑えた衣料品を大量生産しており、資源の無駄遣いや環境汚染への懸念などが指摘されている。この問題を解決するためには、先のことを考え、本当に必要か長い目で見て価値ある商品を購入することが必要であると考えます。

### 研究目的

本研究では、学生を中心とする若者に衣類の購買行動についてのアンケート調査を実施し、自身が立てた仮説を元にこれを検証することを目的とする。具体的には、消費者側から学生を中心としたファッションへの関心や購買行動と環境への配慮との関係を明らかにする。仮説としては、ブランド意識のある人ほど、長持ちする服を購入し、環境への配慮につながっているというものである。

### 研究方法

本学生を中心とする113名を対象に、アンケート調査を実施した。調査の内容は、ファッションへの興味関心、ブランド意識、ブランドイメージ、購入に至るまでの重要度などである。回答結果を集計、分析することで、上記の仮説が正しいかどうかを検証する。

### 分析結果

まず、今回のアンケート調査の結果により、大多数の人がファッションに興味・関心があることが判った。ブランドを意識する人(好みのブランドがある人)も多かった。その一方で、購入に至るまでの重要度において、“長持ちする”という観点を重要視して服を購入するという人はそれほど多くはなかった。よって、上の仮説は否定される結果となった。

### 考察・結論

生産者側も消費者側も環境への配慮をより一層意識し、具体的な取り組みへつなげていく必要があることが、現代の中心的な考え方であり、お互いの努力が環境への負荷を減らすために重要である。